

令和 3 年度組織・財務検討委員会報告

令和 2 年度より、「職連協のミッションの明確化と確実な取り組みの推進」を目的に組織・財務検討委員会が発足され、令和 3 年度も協議・検討を重ねてまいりました。取り組み計画の第Ⅱ期にあたる今年度は、以下のような協議結果となりました。今後、社協職員の皆様へ協議結果や取り組みを共有して頂きながら魅力ある社協を目指していきたくと考えております。

第Ⅱ期検討内容

| | |
|--------------|---|
| ア 研修内容 | ○専門分野別、事業担当者別、新任・中堅・リーダー研修会 ○専門性や知識・技能を高める研修 ○ネットワークやつながりを意識した研修 ○話し合いを中心とする意見交換や交流会 |
| イ 支部運営との交流事業 | ネットワークやつながりについて、県単位の事業よりも強く意識した研修の実施を検討 |
| ウ 先輩職員への協力依頼 | ○職連協の活動へ参加しやすい環境や体制づくり ○新任・中堅職員の育成研修における講師等への協力 |

第Ⅱ期協議結果

| | |
|----------------------|---|
| ア 研修内容 | ●階層別研修：①新任研修 ②中堅職員研修 ③リーダー研修 カテゴリー毎に課題を抽出。内容や運営について精査。 |
| ●専門研修：以下のとおり | |
| テーマ決定方法 | ・会員を対象にアンケートを実施し、テーマを絞り込む。絞り込んだ中で、「社協と〇〇」というテーマを掲げて、次年度研修担当（理事）へ提案。 |
| 担当あるあるの共有方法 | ・30 分会議や短時間でできる情報交換会の実施。 ・Zoom を活用し、参加しやすさに重点を置く。（移動時間の短縮） |
| その他 | ・参加人数も大切だが、情勢や需要に見合う研修が企画出来れば良い。 |
| ●研修実施に係る環境整備、企画・実施方法 | |
| 研修担当選出方法 | ・支部運営委員または支部運営委員以外から選出するかどうか、各支部の状況を確認して方法を決定する。 |
| 企画方法 | 大きなテーマは前期理事（研修担当）が決定し、次期理事へ提案。 |
| 実施方法 | 階層別研修のほかに年 2 回の研修（専門・支部連携）を実施する。 |
| その他 | 理事在任期間はいずれかの研修の企画及び運営を担当する。 |
| イ 支部運営との交流事業 | 各支部への調査において現状では大きな課題は見られなかったため、今後も各支部の独自性を尊重して活動を継続する。 |
| ウ 先輩職員への協力依頼 | 各支部への調査において、職連協が実施する事業に参加・出席する場合、会員間の親睦交流企画を除いて職務とみなされ、公用車を使用できることが把握できた。また、職連協が実施する事業に講師として協力を得られることが明らかになった。 一部の社協においては支部運営委員のみ業務扱い、他会員は特別休暇の扱いになるとのことであったが、現状では大きな課題は見られなかった。 |

令和3年度事業報告

◆会務

| 事業名 | 開催数 | 期 日 |
|------------|-----|------------------------------|
| 監 査 | 1回 | R3.5.13 |
| 理 事 会 | 3回 | R3.6.3 R3.10.5 R4.3.16 |
| 代議員会 | 2回 | R3.6.3 R4.3.16 |
| 組織・財務検討委員会 | 4回 | R3.9.7 R3.11.9 R4.1.6 R4.3.4 |



◆研修会

| 事業名 | 期 日 | 研修内容 |
|----------------------------|-----------------|---|
| 第57回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会 | R3.7.1 ～ 7.8 | ①基調講演(オンデマンド配信) テーマ 「再確認。社協の使命とは～未来(これから)を創る社協職員を考える」 ②分科会(ZOOM開催/第6分科会にて実施) |
| 内社会福祉協議会職員新任・初級研修 | R3.7.1 | ステップ1 ○導入「参加者同士を知る」 ○講義Ⅰ「社協の基本理解」 ○講義Ⅱ「社協新任職員への期待講師」 ○講義Ⅲ「新しい時代の社協職員像」 ～パラダイムシフトとライフシフト～ |
| | R3.11.16 | ステップ2 ○講話「地域共生社会実現に向けて、社協が求められていること」 ○グループワーク「社協の魅力」 |
| コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修 | R3.8.24 8.25 | 【第1日目】○講義1～3 ○演習1～演習3 【第2日目】○講義4 ○演習4～6 |
| | R4.1.25 1.26 | 【第1日目】実践報告：グループコンサルテーション 【第2日目】ワークショップ：ネットワーク会議の実践/総括講義 |
| 専門研修 | R3.9.21 9.22 | ファシリテーションに関する研修 ○講義・演習 「社会福祉協議会の職員として必要なファシリテーション(前編)」 ○講義・演習 「社会福祉協議会の職員として必要なファシリテーション(後編)」 |
| | R3.10.21 | SNSツール活用に関する研修 ○講義・演習「共感力を高める広報セミナー～SNSの利活用について～」 |
| | R3.11.4 | ICTツール活用に関する研修 ○講義・演習「社協におけるICTツールの利活用について」 |

※紙面スペースの都合上、内容を省略して記載しております。

県西支部の活動紹介コーナー



県西支部研修会を実施しました。

県西支部は古河市、結城市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、下妻市、八千代町、五霞町、境町の10市町で構成されています。

今回、研修会実施にあたりアンケート調査を行ったところ、コロナ禍での地域福祉活動について考えていきたいという声が多かった為、先進的な取組みをされている大阪府豊中市社協の勝部 麗子様を講師に迎え「新型コロナウイルス新しい生活様式下での社会福祉協議会の取り組み」をテーマにZoomにて研修会を実施しました。

豊中市社協では地域福祉活動再開に向けたガイドラインを作成されるなど、どのように取り組めばコロナ禍においても活動できるかという視点で、講座の一部をオンラインにする事や会食会から配食にするなど、制約のある中で助け合いや社会参加を止める事無く様々な活動を進められており非常に有意義な研修会となりました。

この場をお借りして豊中市社協 勝部様に感謝申し上げます。

